

遠隔講義システム

～ナノを識る～

概要

遠隔講義システムは、多地点テレビ会議システムを応用し、講義室と各サテライト教室をインターネットを使って通信し（H. 323規格）、講義をインタラクティブに中継する通信システムです。音声、講義風景および各サテライト教室の映像だけでなく、H. 239規格のデュアルビデオ機能を使って、講義で使用するプレゼンテーション資料が各サテライト教室の端末に送られます。そのため、各サテライトでも講義教室と同じクオリティーで講義資料を見ることができます。また、双方向通信ですので、各サテライト教室からもリアルタイムに質問などの発言をすることができ、各サテライト教室を結んで、ディベート・ディスカッションを行うこともできます。さらにこの講義の様子は録画サーバーに記録することができ、受講生は授業後にストリーミングサーバーにアクセスすることで、記録された講義の音声・映像・講義資料をPCのwebブラウザ上で再視聴することができます。

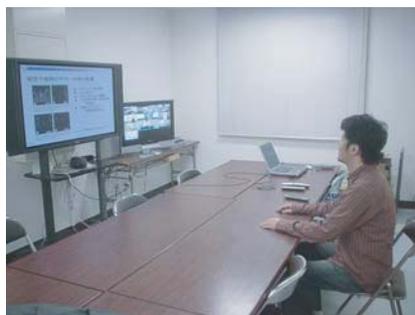
仕様

最大配信拠点数：32カ所
通信速度：1152kbps

講義風景



中之島センター講義室



豊中サテライト教室



東京サテライト教室

配信地域

企業、研究所等、多くの協力、参加を得ており、これまでに、全国14か所で講義の配信実績があります。また、海外との通信も行っています。



配信端末



多地点配信サーバー (MCU)



録画ストリーミングサーバー